

小菅 優

ピアノ・リサイタル

ソナタ・シリーズ
Vol.3
「愛・変容」



©Takehiro Goto

Program

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第30番 ホ長調 op.109

矢代秋雄：ピアノ・ソナタ

シューマン：ピアノ・ソナタ第3番 へ短調 op.14

プログラムを変更する場合がございます。ご承知おきます。

2024 **10/3** [木] 18:30 開場
19:00 開演
Halle Runde (名古屋市昭和区桜山町)

[チケット代金 (全席自由)]

一般：4,500円 学生：2,000円

ペア：8,000円 (ルンデ取扱のみ)

整理番号順入場 WEB 早期申込み割引あり

チケットの購入はこちらから

ルンデ

<https://dbf.jp/runde/r241003>

*未就学児のご入場はお断りいたしております。

『花束よりチケットを』

ルンデでは出演者のプレゼント等は受付にてお預かりいたしません。
そのお気持ちをチケットにかえて、ご家族、ご友人とお越しいただけ
ましたらうれしく思います。





©Takehiro Goto

小菅 優 (ピアノ) YU KOSUGE, Piano

9歳より演奏活動を開始し、2005年カーネギーホールで、翌06年には、ザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビュー。ドミトリエフ、デュトワ、小澤、ノリントン、オラモ、ノットなどの指揮でベルリン響、フランクフルト放送響、シュトゥットガルト放送響、BBC響、NDRエルプフィル、サンクトペテルブルク響、フィンランド放送響、フランス放送響、スイス・ロマンド管等と共演。ザルツブルク音楽祭ではポゴレリッチの代役としてヘレヴェッヘ指揮カメラータ・ザルツブルクと共演。10年から15年まで、東京、大阪でベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会(全8回)を行った。さらに現在はソロだけでなく室内楽や歌曲伴奏を含む、ベートーヴェンのすべてのピアノ付き作品を徐々に取り上げる企画「ベートーヴェン詣」に取り組んでいる。

録音は、ソニーから発売している最新盤のライアン・ウィグルスワース指揮 BBC 交響楽団による『藤倉大:ピアノ協奏曲<インパルス>&WHIM /ラヴェル:ピアノ協奏曲ト長調』(第77回文化庁芸術祭優秀賞受賞)をはじめ数多い。

第13回新日鉄音楽賞、第17回出光音楽賞などを受賞。14年に第64回芸術選奨音楽部 文部科学大臣新人賞、2017年第48回サントリー音楽賞受賞。2017年から4年にわたり、4つの元素「水・火・風・大地」をテーマにしたリサイタル・シリーズ『Four Elements』を開催し好評を博した。2023年よりピアノ・ソナタに焦点をあてた新プロジェクト”ソナタ・シリーズ”を開始。

ソナタ・シリーズ

モーツァルトやベートーヴェンなど、古典派のピアノ・ソナタはピアニストにとって必ず通る道だと思えますが、ソナタの歴史を眺めると、バロックから現代まで、こんなにまで画期的な変化を成し遂げ、色とりどりのものがあるのかと改めて感心させられます。

これまで私はベートーヴェンの全ピアノ・ソナタ・シリーズ、そして印象派や国民楽派などのレパートリーを含めた Four Elements のシリーズを行ってきました。

それらを経て、今度はソナタというテーマに基づき、様々な時代を歩む作曲家の限らない世界に挑戦したいと思います。

若さと意欲に溢れるものを紹介し(Vol.1)“幻想”という自由な構成と想像力を楽しみ(Vol.2)“変奏”の複雑にして、一つのテーマというところから生まれる多彩なアイディアに触れ(Vol.3)、単一楽章で一つの大きなストーリーを語る革命的な道のりを歩み(Vol.4)、そして巨匠達の晩年のこの上ない深遠な世界(Vol.5)でその旅を締めくくりたいと思います。

今私は40歳へと向かっていますが、そこを通りすぎたとき、音楽家としての成長において確実に得られるに違いないものを目指しています。

その中で、シューベルトのソナタは大きなゴールの一つです。何故なら、これほどまでに人間の心の奥深くまで探る旅は他にないからです。

闇、悲しみ、孤独、その深淵の世界の先には必ず美しいものもあり、その共存にはこの世界の哲学があると思うのです。

ソナタという一つのジャンルから、限りなく多彩で冒険的な音楽と出会い、そしてその奥深い世界を皆さまと探る5公演を、楽しくも実りのあるシリーズにしたいと思います。

Vol.3 「愛・変容」

ソナタ・シリーズもついに折り返し地点に…。

第3回と第4回はそれぞれ、形式において、感情においてのテーマがある。その上でこれらのソナタには、一つ一つの共通点よりも違いが際立っていると思う。

第3回「愛・変容」は、どのソナタにも変奏曲が入っていて、私にとって“愛”そのものを感じるソナタを3つ並べた。まずベートーヴェンの晩年の傑作、ソナタ作品109。そもそもホ長調という調性自体を私は愛と結びつけているが、作曲家が人生経験を積み重ねたがゆえに見える、透き通った愛の結晶のようなものを感じる。そしてこのソナタへの愛に満ちた(精神的影響を多く受け、ピアノ・ソナタの理想像だと書いている)矢代秋雄のソナタ。簡素な形式を用いている上、矢代氏の作品からはいつも“歌”を感じる。

シューマンのソナタ第3番は、後に妻となるクララと恋仲にあった中で、クララの父に別れさせられ、離れ離れになっていた一年半の間に書かれた。作品全体にわたってクララの書いたアンダンティーノのモチーフを使い、彼の寂しさを熱く訴えるような情熱に加えて、内面的な繊細さも持つ素晴らしい作品だ。

小菅 優

チケット販売 ▶▶ 芸文プレイガイド (052-972-0430) / ブレイクカフェ (Halle Runde 1階)

Web Live Concert 同時開催 ルンデ会員登録が必要です。詳しくはルンデWebサイトのチケット購入ページでご確認ください。

感染症対策のためのお願い

- 発熱 (37.5℃以上) および体調不良の方の来場はお控えください。公演後でも構いませんので連絡いただきましたら、ルンデ主催の他公演への振替をいたします。
- マスクをご持参ください、ロビーより着用をお願いいたします。
- 物販はございません。また公演後の演奏者との交流も中止いたします。
- 感染症の流行状況により、席数を減らして公演を行う場合がございます。ご希望の席がご用意できない場合がございますことご了承ください。
- チケットの半券にご記名のうえ、ご来場下さい。



一般財団法人 ルンデ

〒466-0044 名古屋市昭和区桜山町1丁目21番
TEL : 052-846-8566 / E-mail : runde@dbf.jp

[アクセス]

ホールへお越しの方の駐車場ご利用はお断りいたします。

名古屋駅からは、名古屋市営地下鉄桜通線

金山駅からは、名古屋市営バスをご利用ください。

・名古屋市営地下鉄桜通線・鶴舞線「御器所駅」3番出口

・名古屋市営地下鉄桜通線「桜山駅」1番出口

・名古屋市営バス「桜山」
(それぞれ徒歩10分程度)

<https://dbf.jp/runde/>

